

街区公園の観賞的価値とデザインの関係に関する研究

徳島大学 学生員 ○三多庸介 徳島大学 正会員 山中英生
 徳島大学 正会員 真田純子 徳島市役所 正会員 亀谷一洋

1. はじめに

都市政策において、潤いや豊かさを提供する場所として都市公園を増そうという考えはもはや疑う余地のないものとして存在している。

市街地の公園の価値について見てみると、公園の価値は一般に「利用価値」と「存在価値」で語られることが多い。利用価値とは、公園に行き遊ぶなど利用することによって生じる価値のことであるが、日本の文化に公園という施設がなじまないという指摘もある。確かに都市公園の中には、作られてはいるものの人がほとんど近寄ることのない公園も存在している。また存在価値とは、市街地において通風をよくするため、避難スペース等のオープンスペースとしての価値であるが、存在することのみ意義のある公園では良好な都市空間の形成は難しいと考えられる。

ここで公園周辺の住宅の中に、公園に窓を向けている住宅と窓を向けていない住宅がみられる。住宅が公園に向いているという事実の裏には、公園を見て楽しむという意識があるのではないだろうか。草花や樹木が植えられることの多い公園には、安らぎや精神的豊かさを得られる価値があると考えられる。これを利用価値、存在価値とは異なる第3の価値として、観賞的価値と名づける。本研究では、良好な都市空間の形成に寄与する観賞的価値の高い公園の傾向を把握することを目的とする。

2. 研究の方法

住む人の公園への思いが住宅に現れていると仮定し、公園内部の様子、公園縁の設え、隣接部の道路の種類、住宅縁の設え、建物の向きの調査を行い、これらの関係性をみた。



図1 研究対象の概念図

3. 対象とする公園

徳島市の都市公園のうち、建物や敷地縁の設えから住む人の意志を把握するため、以下の条件を満たしている公園を抽出した。その結果、合計38公園を調査対象とした。

- ① 戸建て住宅に隣接している公園
- ② 周辺住宅よりも先に開設された公園

4. 調査内容

(1) 公園縁の設え

公園縁の設えは、見通しの良し悪しを基準に図-2に示す通り分類した。



図3 自動車道路



図4 道路なし



図2 公園縁の設えの分類

(2) 隣接部の道路種類

公園と住宅の間にある道路は以下の3項目で分類を行った。自動車道路があることにより、住宅と公園が離れ、公園内部をあまり見ることが出来ないが、歩行者専用道路や道路が無い場合は住宅と公園が近く、また自動車交通がないため心理的距離も短くなると考えられる。

- ①自動車道路、②歩行者専用道路、③道路なし

(3) 住宅縁の設え

(1)の公園縁の設えと同様の項目で分類を行う。

(4) 建物の向き

図5のように窓が公園側にあれば、公園に向いている建物、図6のように窓がなく壁の場合や小窓の

場合は公園に向いていない建物と定義する。



図5 公園に向いている建物



図6 公園に向いていない建物

(5) 住宅の向き

住宅縁の設えと建物の向きにより住宅の向きを決定する。図7のように、建物が公園に向いていても、住宅縁の設えの見通しが悪い場合、住宅側は公園を見る意思がないと考え、公園に向いていない住宅とする。



図7 公園に向いていない住宅

5. 分析

(1) 住宅の向きと公園縁の設えとの関係

住宅の向きと、その住宅が面している部分の公園の縁の設えの関係を見た(図8)。公園縁の設えがどのような形態であっても住宅は公園に向いていないものが多く、それぞれの住宅数の割合にも大きな違いはみられないことが分かる。これより、住宅の向きと公園縁との関係性はないと考えられる。

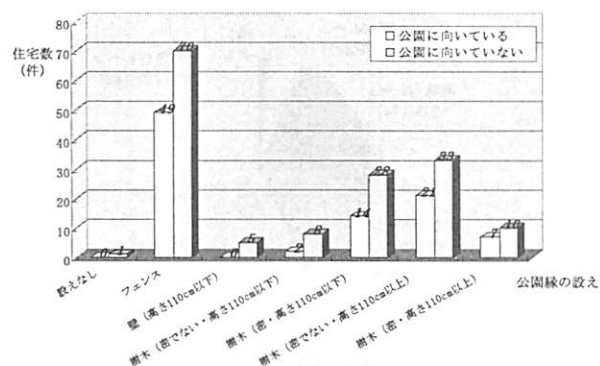


図-8 公園縁の設えと住宅数

(2) 住宅の向きと公園面積との関係

つぎに、住宅の向きと公園面積との関係をみた。しかしながら特に傾向は見られず、住宅の向きと公園面積との関係性はないことが考察された。

(3) 公園ごとの住宅の向きの傾向

つづいて、住宅が公園に向く傾向の強い公園の特徴を把握するため、公園毎に周囲の住宅の向きを集計し、公園に向いている住宅の割合が多い公園と向

いていない住宅の割合が多い公園を抽出した。このとき、公園周囲の住宅数が少ない公園は傾向が把握しにくいと除外した。また、全体として公園に向かない住宅が多いことを考慮し、公園に向いている住宅と向いていない住宅が半々の場合は、公園に向いている住宅の割合が多い公園であるとした。

表1 住宅が向く傾向による公園の分類

住宅が公園に向きやすい公園		住宅が公園に向きにくい公園	
南末広三角公園	しらさぎ中央公園	東富田公園	竜王北1号公園
西富田公園	しらさぎ台1号公園	富田中央公園	竜王北2号公園
佐古西公園	しらさぎ台2号公園	昭和町公園	しらさぎ台4号公園
大原団地東公園	佐古駅東緑地	丈六南公園	しらさぎ台5号公園
		竜王中央公園	
		センチュリーヒルズ団地1号公園	
		センチュリーヒルズ団地3号公園	

(4) 鑑賞的価値の高い公園の傾向

二つの傾向の公園それぞれで共通点を把握した。

この結果から得られた公園と周辺住宅との関係性は、表2のように外部から見通しが良く公園内を見ることができる、また公園内に樹木が多い場合、周辺住宅は公園に窓を向けるという傾向がみられた。表2のように外部からの見通しが悪く、公園内を見ることができない、また公園内に樹木が少ない場合、周辺住宅は窓を向けていないという傾向がみられた。

表2 住宅が向く傾向の公園の共通点



表3 住宅が向かない傾向の公園の共通点



6. おわりに

以下の3点が観賞的価値の高い公園の傾向として把握できた。

- ① 公園内部が手入れをされており、樹木や草花などの植物が多くある。
- ② 公園が開放的で、外部からの見通しが良い。
- ③ 公園の地盤が低く、周辺住宅から見える高さに公園が位置している。

参考文献

白幡洋三郎ら「日本文化としての公園」八坂書房、1993年